

令和五年度入学者選抜試験問題【一般 追試験】

〔国語総合〕

(試験時間：六十分)

受験番号	
------	--

《注意事項》

1. 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 問題冊子及び解答用紙には、受験番号を記入する欄があります。それぞれに正しく記入してください。
3. 国語総合（一般 追試験）の問題は、全部で34問あります。
4. 解答は、問題番号ごとに解答用紙の各欄に、番号をひとつ記入してください。
5. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明及びページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。
6. 試験終了後、全ての配布物を回収します。
問題冊子は左側に、解答用紙は右側に置き、試験監督者の合図があるまで席を立たないでください。

第1問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

ところで、最近気にかかることをこれまでに幾つか書きましたが、ここでも少し書いてみましょう。何かに感動したり、心を動かされたときに出てくる言葉、「高い!」「凄い!」「うまい!」「うまい!」などの言葉をチュウト半端に止める、つまり「高っ」「凄っ」「うまつ」という表現が大流行りなのはなぜでしょうか。その方が気持ちの高揚が伝わる、ということなのでしょう。私には、どうも流行、それもTVに出てくる一部のタレント(?)さんたちの口真似まねをしているだけのように聞こえてしまうのですが。

もう一つ、そうした間投詞として圧倒的な使用bヒンドを誇るのが、前述の「凄い」と「やばい」です。この「やばい」は、主として犯罪者や反社会的勢力の間で使われてきた言葉で、真つ当な人間が使うべき言葉ではない、まことに「やばい」言葉とされてきたものです。それが、女子高生までが平気で使う、しかも、Aな判断のときにさえ使うのは、本当に聴き辛いつらいものです。

¹ こうした状況を見ていると、どうも言葉を使う、ということが、言語中枢へ送り込まれた感覚刺激を中枢で読み取った上で、それへの判断の結果としての反応を改めて言語化して言葉が発せられるのではなく、刺激をそのまま言語化しているような、Bな状況が言語活動のかなりな部分を占めているのではないかと疑いたくなります。そういう感覚刺激と直結した言語活動があることは否定しませんが、わずかでも、自分のなかで言葉を探す、この事態に適切に表現できる言葉は何か、という反省的な営みが全くケツジcョしているのを見ることは、人間としてはとても悲しいことです。

今の自分の感覚をどう言葉で表現するか、そうした反省なしに、皆が使っている常套句Iを反射的に使うことで仲間入りをする、だからこそ、美味おいしいものを口に含んでも、気持ちの良い音楽を聴いても、あるいは財布を忘れてレジに立ったときも、口から発せられる言葉はイチヨウdに「やばっ」になってしまう。そんな風に考えたくなります。

ある方が書いておられました、「気の置けない仲間と」談笑されたのか、酒を飲まれたのか、その辺は判りませんが、そう文章で書いたところ、一読者から「その表現は誤用です」というクレームが来たというのです。「やばい」が「やばくない」場面にも今は平気で使われる、と先に書きましたが、Xことが、ここでは起こっています。そのクレームは、「気の置けない」を「気の許せない」の同類語である、とても勝手に決め込んで投書されたのでしょうか。いくら言葉は流動的だ、とは言っても、これでは辞書があることさえ意味を失いそうです。これもむしろ、「気の置けない」と「気の許せない」を感覚的に同類と捉えてしまった、反射型の反応に由来する現象の一つかもしれません。

念のためですが、「置く」には、心隔て、遠慮、かすかなケイカイe・不信、気兼ね、気後れ、などをするといい意味があります。すでに『源氏物語』にも「心置く」というような表現として使われています。「心置く」、とても奥床しい言葉遣いではありませんか。そもそも、「心置きなく」などは、今でも常套的に使われる表現ではないでしょうか。それが「置けない」と否定されているのですから、そうした遠慮など無用な、という意味

になります。そもそも、そうしたクレーマーは、投書される前に、辞書を覗いて確かめるというわずかな努力さえ惜しんだのでしょね。

²ラ抜きに関しては、もはや、後戻りできないところまで来ているようです。NHKだけは、TVで発言者がラ抜きで話しているときでも、画面の下に出る文字情報では、リチギにラを入れた表現に直しているようすが。しかし、いくらそちらへ趨勢が流れても、例えば「出れる」という言葉の汚さ、書くだけで怖気を振るような感じで、自分ではそれこそ絶対に使いませんが、自分のなかでもややアイマイな事例が出てきてしまつて、書く時に一瞬躊躇う場面があることは、情けないことですが告白しておきます。

何だかこれを書いていると、自分が「言葉警察」になつたかのように思えてきます。でも誰かが言わないと、いや、言つたところで、Y かもしれないませんが、多少とも言葉に気を遣うフウチョウを世の中にジウセイできれば、という老婆心(あ、これも老爺心ろうやしんという言葉の方が適切でしょうが、生憎あいじやくこればかりは辞書にもないので)のハツロjに過ぎないでしょう。

(村上 陽一郎「エリートと教養」より)

問1 傍線部a~jと同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(1)~(10)。

- | | | | | | | |
|---|-------|-----|---|----------------|---|----------------|
| a | チュウト | (1) | ① | 日本のシュトは東京だ。 | ② | イトしたとおりに進行する。 |
| | | | ③ | 問題解決はゼント多難だ。 | ④ | トザン道を整備する。 |
| b | ヒンド | (2) | ① | ライヒンの挨拶を聞く。 | ② | ヒンコウ方正な人柄。 |
| | | | ③ | ケイヒン工業地帯。 | ④ | ヒンパンに起きている問題。 |
| c | ケツジョ | (3) | ① | ジヨソウをつけて跳躍する。 | ② | 面目ヤクジヨを果たす。 |
| | | | ③ | 警報はカイジヨされた。 | ④ | ジヨジヨウ的な文章。 |
| d | イチヨウ | (4) | ① | 美しいヨウシをしている。 | ② | 決められたヨウシキを守る。 |
| | | | ③ | 物事のヨウシヨを押さえる。 | ④ | しつかりとエイヨウをとる。 |
| e | ケイカイ | (5) | ① | カイゲン令が敷かれる。 | ② | 出版ギョウカイで働く。 |
| | | | ③ | カイカイ体操の選手。 | ④ | 生活習慣のカイゼンに努める。 |
| f | リチギ | (6) | ① | ギリを欠くことはできない。 | ② | 多くのギセイを払つた。 |
| | | | ③ | ギシキが厳かに執り行われた。 | ④ | 解釈にギギが生じる。 |
| g | アイマイ | (7) | ① | 読書ザンマイの日々だった。 | ② | マイキヨにいとまがない。 |
| | | | ③ | テイマイの面倒を見る。 | ④ | 宝がマイボツしているらしい。 |
| h | フウチョウ | (8) | ① | 予定をチョウセイする。 | ② | 日帰りでシュツチョウする。 |
| | | | ③ | マンチョウ時刻を調べる。 | ④ | ウチチョウテンになる。 |

- i ジョウセイ (9) ① ジョウカ町として栄える。 ② 地元でジョウゾウされたお酒。
- j ハツロ (10) ③ ジョウセキどおりの進め方。 ④ キジョウに振る舞う。
- ① 悪事がロケンする。 ② ワイロを取り締まる。
- ③ オウロは二時間かかる。 ④ ダンロで暖まる。

問2 空欄A・Bにあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。
解答番号は(11)。

- ① A 否定的 B 内省的 ② A 肯定的 B 内省的
- ③ A 否定的 B 短絡的 ④ A 肯定的 B 短絡的

問3 傍線部1「こうした状況」とあるが、どのような状況か。その説明として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(12)。

- ① 何かに感動したり、心を動かされたりしたときに出てくる言葉を、気持ちの高揚が伝わりやすいように工夫して若い人たちが使うこと。
- ② 若い人たちが、もともと形容詞である「凄い」や「やばい」という言葉を間投詞として使用し、しかも使用する度合いが高いこと。
- ③ 流行に影響を受けて、これまで聞いたことがなかったり、誤用とされていたりする言葉を、多くの人たちが平気で使っていること。
- ④ 以前は犯罪者や反社会勢力の間で使われてきた「凄い」や「やばい」という言葉を、男女問わず若い人たちが使っていること。

問4 二重傍線部I「常套句」・II「老婆心」の意味として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(13)・(14)。

- I 常套句 (13) ① はやり言葉 ② 決まり文句
- ③ 余計な文句 ④ 地方の言葉
- II 老婆心 (14) ① 自らを尊重する心 ② 年長者の優しい心
- ③ 必要以上の親切心 ④ 人に役立つ道德心

問5 空欄Xにあてはまる内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(15)。

- ① 言葉も意味も新しく進化するという
- ② 言葉に複数の意味が備わってしまう
- ③ 表現の意味が完全に逆転してしまう
- ④ その場での正しい意味を選ぶという

問6 傍線部2「ラ抜きに関しては、もはや、後戻りできないところまで来ているようです」とあるが、ラ抜き言葉を含む誤用とされる文を次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(16)。

- ① これ以上走れないのなら、無理をせずにここで休憩することも可能だ。
- ② 私の経験からは考えられないような、とんでもないことが起こっている。
- ③ 私の手ではとても取れない細かい隙間に、書類を一枚落としてしまった。
- ④ 私は、誰にも作れないような、素晴らしい作品を制作するつもりだ。

問7 空欄Yにあてはまることわざとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(17)。

- ① 言わぬが花 ② 馬の耳に念仏
- ③ 知らぬが仏 ④ 耳にたこができる

問8 本文に書かれている内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(18)。

- ① 言葉は流動的で、誤用とされた用法が定着したり、これまでになかった言い回しが出てきたりすることもあるので、表現の変化には注意して欲しい。
- ② 最近では、刺激をそのまま言語化しているような、感覚刺激と直結した言語活動がわずかに見られるので、言語活動を見直し反省して欲しい。
- ③ 若い人に限らず、年長者でも誤った言葉遣いをすることもあるが、辞書を使って常に正しい言葉を老若男女問わず使えるようになって欲しい。
- ④ その場その場に応じて適切に表現できる言葉を自分のなかで探すという営みを大切にして、多少とも言葉に気を遣う姿勢を持って欲しい。

第2問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

人間のつき合いというものには、流動性がある。そして私は、流動性があつてかまわないと考えている。本
当に嫌になつてつき合わなくなる人もいる。それはそれでいいのだ。

離れてしまえば、自分は傷つかない。時が経つにつれて、いい人だったというサツカクも生まれてくる。
ただ、そうした嫌な人が同じ会社にいた場合、どうしたらいいのだろうか。上司、同僚、部下を問わず、出
社をすればいつも視界の中にいる。

私は、「人にはシンセツにせよ」と習つて育つた。『教育勅語』が發布された明治二十三年（一八九〇年）か
ら昭和二十年（一九四五年）まで、「修身」という科目が学校にあった。

A、世の中には、親切にしないことで解決することもある。「勝手にしろ」と突き放すほうがいい場合
があるのだ。

私たちは、地球上のある一点にたまたま住んでいる。会社というものも、たまたま通っているだけだ。とは
いえ、食べていくため、生きていくためにはそこで働く以外にない。そういうふうには「X」のがいちばん
いい。

私たちは、自分が仕事をするために属した世界からあらゆることを学ぶ。私は作家の世界から学んだ。
小説には学校がない。基本的に、先生もいない。私の場合、若い頃には同人雑誌というものがあつた、その仲
間は、言つてしまえば幼稚園の同級生みたいなものだった。

同人のみなまでお互いに批評し合い、批判されると、あいつは私の才能に嫉妬している、などと言つたりす
る。へたつぴいがそろつて小説を書き、けなしあつたり褒めあつたりしてという経験は役に立つた。

小説がうまくなるには量を書かなければダメだということがわかつたのである。おかげで私が書いた小説の
量にはものすごいものがある。

人間関係が面白くなくても、食べていくためにはこの仕事の世界にいるしかない、またはこの会社にいるし
かないと居直れば、その世界から学ぶことは意外に大きい。

新聞の連載小説であれば、通常担当者が一人付き、少なくとも一年間は仕事場に来るようになる。

当時、一か月分はすでに書いてあるという作家がいた。一年分を書き終わつてしまつていてという強者もい
た。私の場合は、いいところ一週間分である。

新聞連載中、私は担当者で一週間区切りで会い、それが一年間続くことになる。お互いになんざりしてしま
うことは目に見えている。B、担当者とは仕事以外ではつき合わず、距離感を保つようになつてきた。

最近の男性たちは、会社で部下におごることが少なくなったという。

給料は少ないし住宅や車、子供のガクシのローンなども残つていてとてもそんな余裕はないということもあ
るだろうが、勤務時間外の間人間関係がわずらわしくなつてきたということもあるだろう。

年長者がいわゆる後輩におごらなくなつてきているのは、Y 証拠だと私
は思う。

実は、私は人におごるのが好きである。「ご飯を食べにいらつしやい」と自宅へシヨウタイすることもある。割り勘以外の飲食というものにはそれなりに意味がある。おごる側、おごられる側の人間性がもろに出るからだ。

お金を出すといばる人、お金を出してもいばらない人、というのがよく見える。いばるにしても、「今日は俺がお金を出したんだから、気持ち良くいばらせる」と素直に言える人がいたら、それはそれで魅力的なことだ。そうした人間性の裏側まで見抜く力、あるいは見抜こうとする意識が、かつての古い世代にはあった。

(曾野 綾子「人生を整える 距離感の作法」より)

問1 波線部ア「嫌な」と言葉の働きが同じものを本文中の波線部イ〜オから一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は(19)。また、その品詞名を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(20)。

- | | | | | |
|------|----------|---------|---------|---------|
| (19) | ① イ たまたま | ② ウ 属した | ③ エ すでに | ④ オ 素直に |
| (20) | ① 連体詞 | ② 副詞 | ③ 形容詞 | ④ 形容動詞 |

問2 傍線部a〜eと同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答

番号は(21)〜(25)。

- | | | | | |
|---|-------|------|------------------|-----------------|
| a | サツカク | (21) | ① 著名なサツカとの対談。 | ② 一組のサツカクを見つける。 |
| b | シンセツ | (22) | ③ サツコンの経済事情。 | ④ 微妙な変化をサツチする。 |
| c | ダメ | (23) | ① 相談所をカイセツする。 | ② セツブン行事を楽しむ。 |
| d | ガクシ | (24) | ③ セツゲツカの組み合わせ。 | ④ 腫瘍をセツジョする。 |
| e | シヨウタイ | (25) | ① ダチンをもらって手伝う。 | ② ダラクした政治を嘆く。 |
| | | | ③ ダキョウを許さない。 | ④ タイダな生活を改める。 |
| | | | ① 動物をシイクする。 | ④ タイダな生活を改める。 |
| | | | ③ シシヨウと弟子の関係。 | ④ 株式トウシに興味を持つ。 |
| | | | ① おいしい店をシヨウカイする。 | ④ フクシの支援に携わる。 |
| | | | ③ 合格者をシヨウシュウする。 | ② シヨウサイを確認する。 |
| | | | | ④ 損害をホシヨウする。 |

問3 空欄A・Bにあてはまる語として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答

番号は(26)・(27)。

- | | | | | | |
|---|------|-------|-------|--------|--------|
| A | (26) | ① そして | ② さらに | ③ しかし | ④ つまり |
| B | (27) | ① だから | ② けれど | ③ ところで | ④ たとえば |

問4 傍線部I「親切にしないことで解決することもある」とあるが、筆者はどのようなことを通してこのように述べているか。その説明として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(28)。

① 人間のつき合いには流動性があって、嫌になって一度離れてしまった相手でも、時が経つにつれていい人だったという認識も生まれること。

② 私が会社に勤めるというのは地球に住んでいるのと同じで、食べていくためや生きていくためにはそこで働く以外ないとわかったこと。

③ 作家になろうと思っても小説に学校はなく先生もいないので、同人雑誌の仲間が、いわば幼稚園の同級生みたいなものだったこと。

④ 作家を目指して仲間同士でけなしあったり褒めあったりするなかで、小説がうまくなるには量を書かなければいけないとわかったこと。

問5 空欄Xにあてはまる語として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(29)。

① 居直る ② 突き放す ③ 我慢する ④ 批判する

問6 二重傍線部I「嫉妬」・II「わずらわしく」の意味として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(30)・(31)。

I 嫉妬 (30) ① あこがれ目指すこと ② あきらめ断念すること

③ うらやみねたむこと ④ だめだと見限ること

II わずらわしく (31) ① こだわりがなく ② 面倒で気が重く

③ 疎遠でさびしく ④ 険悪で腹立たしく

問7 空欄Yにあてはまる内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(32)。

① 時代が心身ともに貧しくなっている ② 外食のできない時代になっている

③ その時代の家庭環境の変化の影響が大きい ④ 仕事から学ぶ姿勢が減ってしまった

問8 傍線部2「それはそれで魅力的なことだ」とあるが、このように筆者が考える理由として最も適当なものの中から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(33)。

① 普通であればお金を出していばるのは感じがよくないのでいばらない人が多いが、みんなが言えない気持ちを代弁しているから。

② いばりたいからいばらせろという偽りのない気持ちを言葉にしたもので、その人の飾らない素直さが見えるから。

③ 割り勘以外の場合には、おごる側の人間性が見えてしまうが、うまく笑いを誘うような発言でその場を和ませることができるから。

④ お金を出してもいばらないのが一般的にはスマートだが、自分の人間性を知ってもらうためにあえて本音をさらけ出したから。

問9 この文章の展開の仕方について述べたものとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(34)。

① 筆者の具体的な体験をいくつか織り交ぜながら、それぞれについての筆者の考えや理由、好みを、明確に述べている。

② 筆者の主張を冒頭で示し、複数の具体的な事例を並べて説明し、冒頭で述べた主張をもう一度まとめて繰り返し述べている。

③ 筆者が相談を受ける内容を、問題提起する形で冒頭に示し、それに対する複数の考え方を対比させながら結論に導いている。

④ 筆者の具体的な体験だけを示し、はっきりと考えや意見を述べないことで、体験を通して考えてほしいことを読者に委ねている。